

Y M I R L I N K

2020年12月16日
ユミルリンク株式会社

SMS 配信サービス「Cuenote SMS」が発信元番号の使い分けに対応

～複数部門での利用、クラウドサービス事業者における SMS の活用・管理が容易に～

阪急阪神ホールディングスグループのユミルリンク株式会社（代表取締役社長：清水 亘、本社：東京都渋谷区）は、SMS 配信サービス「Cuenote SMS」において、同一契約内で複数の発信元番号の使い分けが可能となる新バージョンを本日より提供開始いたします。

ユミルリンクが提供するクラウド（SaaS）サービス「Cuenote（キューノート）」シリーズは、独自のメッセージングテクノロジーによりメールやショートメッセージ（SMS）を高速・確実に送信し、月間のメッセージ（メール・SMS）配信数は43億通を誇ります。更にシンプルで簡単に操作できることから、各自治体や大手企業をはじめ多くの企業・団体にご利用いただいております。サービス契約数は1,800を超えます。

新たに追加した「SMS 発信元番号の使い分け」は、『事業部や拠点ごとに異なる発信元番号で SMS を送り、送信実績も事業部や拠点ごとに簡単に一元管理したい』『クラウドサービス事業者が、利用企業ごとに異なる送信元番号で SMS を送信し、実績データを簡単に一元管理したい』といったニーズに対応する機能です。



■新機能の概要

1. 複数の発信元番号が設定可能

同一契約内で、ワークエリアという作業領域単位ごとに発信元番号を設定でき、事業部や拠点ごとに異なる発信元番号で SMS を送ることができます。

※発信元番号の使い分けは、docomo、au、楽天モバイル向けには標準機能として無償で提供します。SoftBank 向けについては、有償オプションでの提供となります。

2. 配信実績の一元管理が可能

ワークエリア単位（発信元番号単位）で、SMS の配信数を確認したり、CSV ファイルでデータを取得したりできるため、管理者が配信実績を一元管理しやすくなります。

ユミルリンクは、企業から消費者にメッセージを届け、良質なコミュニケーションを実現するメッセージングプラットフォームとして、今後も更なる利便性の追求とマーケティング効果を高める機能やサービスの拡充に努めてまいります。

■『Cuenote SMS』について <https://www.cuenote.jp/sms/>

「Cuenote SMS（キューノート SMS）」は、国内キャリア（docomo、au、SoftBank、楽天モバイル）との直接接続による正規ルートで高速・確実に SMS（ショートメッセージサービス）配信を行えるクラウド（SaaS）サービスです。

<会社概要>

社 名 : ユミルリンク株式会社

代表取締役社長 : 清水 亘

資本金 : 1 億 1,828 万円

本 社 : 東京都渋谷区代々木 2-2-1 小田急サザンタワー12F

設 立 : 1999 年 7 月

事業内容 : クラウド（ASP・SaaS）サービス事業、ソフトウェアプロダクト事業、

主要株主 : アイテック阪急阪神株式会社

詳細については、<https://www.ymir.co.jp> をご覧ください。

*「楽天モバイル」は、楽天株式会社の登録商標または商標です。

*「docomo」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標または商標です。

*「au」は、KDDI 株式会社の登録商標または商標です。

*「SoftBank」は、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。

*「Cuenote」は、ユミルリンクの商標または登録商標です。